

生活設計・マネープランゲーム 50分用指導案（進行台本）

【ねらい】

未来の生活をシミュレートするゲームを通して、消費や貯蓄など家計の管理に関わる事項について実感を持って理解することができる。

【評価のポイント】

- ・家計管理をするうえで大切なポイントは、収入と支出のバランスであることが理解できたか。
- ・収入と支出、貯蓄の関係を理解することができたか。
- ・自らの生活に必要な選択について、主体的に考えることができたか。
- ・ゲームで得られた気づきを、生活の中でどのように生かしていくかを考えることができたか。

項目・時間		内 容	使用教材など																												
前説・準備 5分	0:00	<p>●授業のねらいを知る 「今日は、生活設計・マネープランゲームをします。ゲームの名前の通り、生活設計とマネープラン（★板書）について、人生の疑似体験を通して考えていきたいと思います。」</p> <p>●ルールを理解する 「①収入と支出のバランス（貯蓄がマイナスにならない）、②人生の満足度と思い出ポイントについて、考えながらゲームを体験していきましょう。」</p> <p>●ゲームの準備をする</p>	<p>★板書 生活設計：将来どんな生活をしたいのか、そのために何が必要なかを考えて計画すること（理想の人生） マネープラン：どのように収入を得て、何にどれだけお金を使うのかを計画すること（収入と支出のバランス）</p> <p>★ゲーム進行スライド ★カード ★マネープランシート ★資料集</p>																												
	0:05	係を決める、4（5）人1班に分かれ、カードを並べる																													
20歳代の人生体験 12分	0:05	<p>1.職業に就く ★ それぞれ職業について確認した後、どの班も「会社に勤める（会社員）」からスタートすることを伝える</p> <p>2.収入が決まる</p> <p>3.非消費支出が決まる ★ 収入・家族構成によって、税金や保険料など給与から引かれることを知らせる</p> <p>4.基本生活支出が決まる 基本生活支出は、年間支出と住居費であることを伝える</p>	<p>★資料集 p10,11 代表的な職業の種類、特徴を確認させる</p> <p>★資料集 p1～3 給与明細の中の「非消費支出」にあたる部分を確認する</p> <p>★板書</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">20歳代</th> </tr> <tr> <th></th> <th>収入</th> <th>支出</th> <th>自動車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1班</td> <td>①</td> <td>③</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>2班</td> <td>③</td> <td>①</td> <td>豪華</td> </tr> <tr> <td>3班</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>4班</td> <td>③</td> <td>③</td> <td>お手ごろ</td> </tr> <tr> <td>5班</td> <td>①</td> <td>①</td> <td>豪華</td> </tr> </tbody> </table> <p>貯蓄額が多くなる例：1班の結果 貯蓄額が少なくなる例：2班の結果 →進行台本p2参照</p>	20歳代					収入	支出	自動車	1班	①	③	なし	2班	③	①	豪華	3班	①	②	標準	4班	③	③	お手ごろ	5班	①	①	豪華
	20歳代																														
	収入	支出	自動車																												
1班	①	③	なし																												
2班	③	①	豪華																												
3班	①	②	標準																												
4班	③	③	お手ごろ																												
5班	①	①	豪華																												
0:14	<p>5.貯蓄額の計算 収入－非消費支出－基本生活支出</p> <p>6.自動車を購入する 自動車購入カードを引いた班は、好きな自動車を購入できることを指示 ★自動車まで確定したら、各班の状況を板書</p> <p>7.20歳代の貯蓄額・思い出ポイントの計算</p>																														
30歳代の人生体験 23分	0:17	<p>1.人生の三大資金を知る ★ 「住宅資金」「教育資金」「老後資金」また結婚する場合の資金などを知らせる</p> <p>2.結婚を決める 結婚する（働くのは一人、二人とも働く）しない、及び配偶者の年間支出</p> <p>3.子育てを決める 結婚するを選んだ班のみ、子育てカードを引き子供の人数を決める</p>	<p>★資料集 p4,5 それぞれどのくらいの金額なのか理解させる</p> <p>★資料集p6,7 ローンの仕組み、メリット・デメリットを理解させる</p>																												
	0:30	<p>4.ここまでの貯蓄額、思い出ポイントの計算 結婚して二人とも働く場合のみ、収入を1.5倍にすることを指示</p> <p>5.ローンについて知る ★ 「お金を借りて買物をする」方法を知る</p> <p>6.住居の購入を考える 一括またはローンの頭金分の貯蓄がある場合のみ購入可 ない場合は賃貸の中から選択するよう指示</p> <p>7.自動車の購入 自動車購入カードを引いた班は、好きな自動車を購入できることを指示</p> <p>8.保険に入るか考える 一部のアクシデントの支出を補てんできることを伝える</p> <p>9.イベント&アクシデント 一度引いたイベント&アクシデントカードは、元に戻さないことを指示</p>																													
0:40	10.30歳代の貯蓄額・思い出ポイントの計算																														

項目時間	内容	使用教材など
考察・発表・まとめ 10分	0:40 <ul style="list-style-type: none"> ●各級の考察 <ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出、思い出ポイントのバランスはとれていたか ・「生活設計」と「マネープラン」について分かったこと ・30歳代までの結果を踏まえ、40歳代以降どのような生活をすればよいか ・ゲーム体験で分かったことを、普段の生活にどのように生かしていけばよいか ●各級の発表 ★各級の結果を板書 	* 考察の項目は、授業のねらいや各級の状況に応じて指示出し ★板書 各級の結果を一覧に書く（下図参照） * 発表時間が少ない場合には、極端な結果になった班をいくつか選んで発表させる
	0:48 <ul style="list-style-type: none"> ●先生のまとめ 「30歳代まででしたが、貴重な人生の疑似体験ができたと思います。価値観は人それぞれですが、理想の人生を送るためには、生活設計が大切だということ。収入や時間は限られているので、やりたいこと全てをすることはできないし、欲しいものすべてを手に入れることもできません。ですから、「必要なもの」なのか「欲しいもの」なのかを考えて判断することが大切になります。これから日々の生活の中でも、お金を使うときには優先順位を考えられるようになって欲しいと思います。 高校あるいは大学卒業後のみんなの人生設計に大いに役立つ内容なので、時間があるときに、資料集の内容も復習しておきましょう。」 	

<板書例>

	20歳代			30歳代						結果	
	収入	支出	自動車	結婚	子ども	住宅	自動車	保険	イベント&アクシデント	貯蓄額 (万円)	思い出
1班	①	③	なし	する 二人	いない	お手ごろ賃貸	お手ごろ	入らない	株価急騰	5,650	2
2班	③	①	豪華	する 一人	3人	豪華賃貸	豪華	入る	英才教育	-7,200	33
3班	①	②	標準	しない	いない	標準一戸建てローン	標準	入る	病気で入院	1,800	9
4班	③	③	お手ごろ	する 一人	2人	標準賃貸	なし	入る	家族旅行が当たる	-2,250	21
5班	①	①	豪華	しない	いない	豪華マンションローン	豪華	入る	自分を磨く	-1,500	15

参考：20歳代終了時点の結果

	20歳代			結果	
	収入	支出	自動車	貯蓄額 (万円)	思い出
1班	①	③	なし	1650	0
2班	③	①	豪華	-1400	10
3班	①	②	標準	1150	3
4班	③	③	お手ごろ	400	6
5班	①	①	豪華	-250	5